

アサヒグループ社員の 皆さまへ

皆さま、どんな「**介護**」について気になりますか？

- ・介護にかかる**費用**はいくら？
- ・介護になると**在宅**と**施設**ってどっちが多い？
- ・介護を受けることになった場合、**誰に頼りますか**？



銀泉株式会社

介護状態になった場合の平均自己負担額

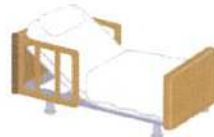
介護にかかる費用は、一時的な費用と継続的な費用に分けることができます

一時的な費用
(初期費用)

平均**69.2万円**※

●主な初期費用の例

- ・車いす
- ・特殊寝台
- ・ポータブルトイレ



●主な月額費用の例

- ・介護サービス費
- ・有料老人ホームの管理費
- ・日用品の購入代
- ・医療費



継続的な費用(月額)

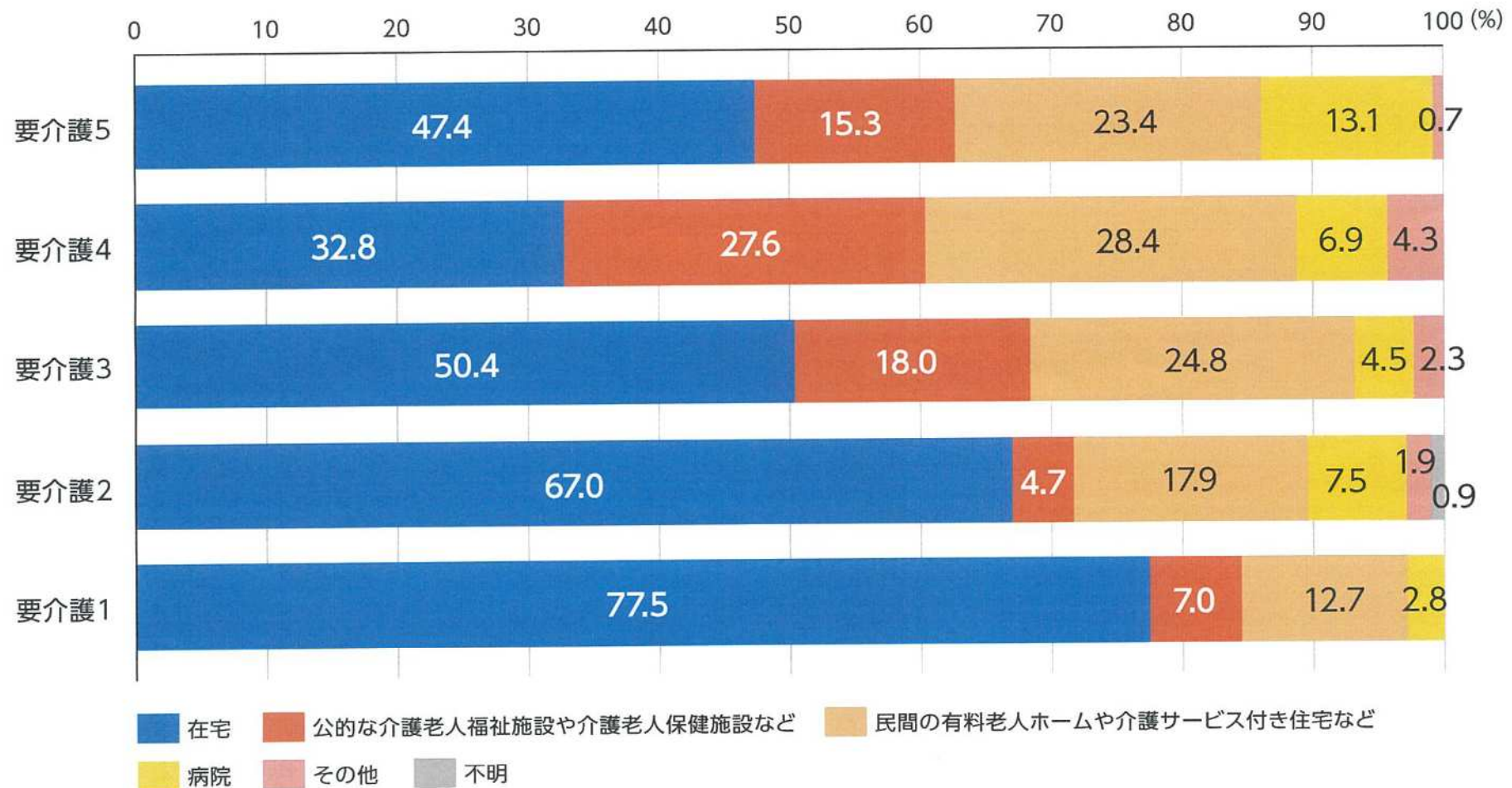
平均**7.84万円**※

介護期間 平均**54.5か月**(約4年6か月)※

※公益財団法人生命保険文化センター 平成30年度 生命保険に関する全国実態調査

在宅と施設の割合

軽度の介護状態(要介護度1-2)においては、「在宅」での介護となる割合が高く、
重度の介護状態(要介護度3-5)においても、約33%～約50%は「在宅」での介護となっています。



公益財団法人生命保険文化センター 平成30年度「生命保険に関する全国実態調査」をもとにアフラック作成

介護する人が“配偶者”の場合

介護する人と介護される人、つまりご家族全員が「より良い時間を過ごせること」が大切です。
そのためにいまできることから準備しておくことが、相手への思いやりではないでしょうか。

- 夜にトイレへ行くたびに介護が必要なために起こされてしまう、目を離すことができないため休む暇がない等、介護における身体的な負担は大きいものです。



- 初めての介護であれば、何が分からないのかすら分からず、気持ちに余裕のない状態になるかもしれません。そのような中、介護に関する様々な判断を行わなければならない状況は、配偶者に大きな精神的負担をかけるかもしれません。



- 配偶者が介護をする場合には「老老介護」となることも多く、ベッドからの移動等の介助で腰を痛めてしまい、自身の日常生活もままならなくなってしまうこともあります。



- お二人で準備してきた老後の生活資金を、介護のために取り崩さなければならないかもしれません。また、もしも老後の生活資金が乏しければ、公的介護サービスを受けること自体を諦めるということになってしまうかもしれません。



介護する人が“おひさま”の場合

介護は誰にでも起こりうる出来事であるからこそ、ご自身がどのような介護を受けたいかということに加えて、介護する人のことを想い、どのように準備するのかをいまから考えておくことが大切です。

- おひさまや、おひさまの配偶者が介護することになれば、家事・育児や仕事との両立が求められます。



- おひさまが介護に時間を割けない部分はデイサービス等、公的介護サービスを受けて補うことも考えられます。

- 遠方に住んでいる場合、おひさまには交通費等往復の移動にかかる負担が発生します。仕事との両立が難しいということになれば、介護を理由に会社を辞めなければならないかもしれません。



- おひさまに金銭的支援をお願いすることになる可能性もあります。場合によっては、お孫さまの将来にも影響してしまう可能性もあるかもしれません。



身近に頼れる人がいない場合

老後の生活資金が乏しければ、**公的介護サービスを受けること自体を諦める**ことになってしまうかもしれません。
介護を受けることになって自分らしくいるための準備をいまから始めることが大切です。

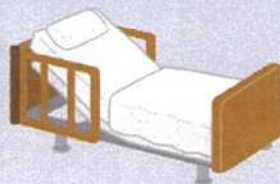
- 『**施設**』を希望する場合には、**より多くの費用が必要**となります。

施設サービス利用時に自身で負担しなければならない費用
(継続的な費用)

施設サービス費用の 自己負担額



居住費等



食費



日常生活費

- ・身の回り品の費用
- ・教養娯楽費 等



*施設によっては入居する際に一時金が必要となる場合もあります。

- 「慣れ親しんだ自宅で過ごしたい」「ペットと一緒に暮らしたい」と『**在宅**』を希望する人もいます。
- デイサービス等、**複数の公的介護サービスを受けて補う場合、費用負担が大きくなる**可能性があります。



- 甥や姪等、**親戚に介護の支援をお願いする**こともあるかもしれません。

